

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

目標1 子どもの安心・安全を守ります

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子どもオンブズパーソン (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの声を聞き「子どもにとっていちばんいいこと」を一緒に考えて考える場所を設置する。	子どもオンブズパーソン(仮称)の設置(設置後の実施状況も含む)	検討	検討	準備	実施	継続	継続	<b>結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容</b>  【相談・救済】 令和4年9月に相談事業を開始し、令和6年度は開設から3年目にあたる。新規相談件数48件。子どもが初回から直接相談に来るケースが半数以上(26件)を占め、その他初回が大人の相談についても、子ども自身から話を聞く活動を心掛け、最終的に全体の約7割(34件)の子どもたちから直接話を聞くことができた。総活動回数は231件。 【普及啓発】 その他相談室の周知及び子どもの権利の普及啓発活動を実施。令和6年度は市立小学校全校の6年生を対象に「子どもの権利学習」を実施した。(986人) 【課題】 「子どもの権利」及び「子どもオンブズパーソン」の認知度及び安定的な運用が課題。市内小中高生については、広報誌等を配布し定期的に周知啓発活動を行っているが、未就学児とその世帯及び子どもがかかわりのない世帯に対する周知啓発活動が課題となる。認知度向上のための継続的な周知啓発活動に加えて、周知が行き届いていない市民への啓発策を検討する。また、安定的な運用のため、相談・調査専門員の質向上研修なども引き続き行っていく。	子ども・子育て会議意見
				虐待相談件数(件)	615	維持 1,091	維持 1,618	維持 1,480	維持 1,862		
2	虐待対応事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	子どもを虐待から守るため、児童相談所や民生・児童委員、警察署、その他関係機関とのネットワークを強化し、関係改善が必要な親子へのサポートなどを行う。	ケース検討会開催回数(回)	73	漸増 45	漸増 53	漸増 52	漸増 42	漸増 44	子ども・子育て会議意見	

1-2. いじめ・虐待等の防止と早期発見を図ります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	虐待防止啓発事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	子どもが相談できる窓口を周知するとともに、体罰などによらない子育てなどの相談を行う。また、要保護児童対策地域協議会での虐待防止マニュアルの活用や構成機関への巡回訪問を行う。	児童虐待防止キャンペーンの実施	実施	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	<b>結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容</b>  要保護児童対策地域協議会構成機関(市内幼稚園、市内認可保育所、市立小・中学校等)への巡回訪問回数(機関数) 77機関/ 77機関  児童虐待防止キャンペーンについては、昨年度同様に市役所第二庁舎風除室スペースを活用し、啓発ポスター掲示やチラシ、リーフレットの配架、啓発グッズやこども家庭センター案内のポケットティッシュを配置し、また駅前での啓発グッズの配布を実施しており、多くの方に目にしていただき、リーフレット等手にとっていただくことができた。 巡回訪問では、学校等に子どもが相談できるようこども家庭センターを案内するグッズを配布した。関係機関を巡回訪問するとともに、児童虐待防止の啓発に努める。要保護児童対策地域協議会への理解・協力を働き掛け、児童福祉施設・学校等の連携を強化していく。	子ども・子育て会議意見
			要保護児童対策地域協議会構成機関への巡回訪問回数(機関数)	45	拡充 64	拡充 68	拡充 76	拡充 76	拡充 77		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

1-4. 普及啓発を推進し、子どもの権利がいかされる社会環境づくりを進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子どもの権利の広報活動 (児童青少年課) ＜重点事業＞	ホームページやリーフレット等による周知・広報を行う。また新たな方法についても検討する。	周知・広報の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容  「子どもの権利」及び「子どもオンズバーソン」を合わせて周知・広報を実施。 (市報、ホームページ、Twitter、子どもオンズバーソン通信(2回)の発行、リーフレット及びカードの配布、各種連絡会・研修での紹介など) ・子どもオンズバーソンが、市内小学校6年生を対象に、「子どもの権利学習」を実施。子どもの権利について、「小金井市子どもの権利に関する条例」について授業を行った(986人)。令和6年度は市立中学校1校において、「いじめ予防授業」を行った際に、「子どもの権利」についても一部啓発を行うことができた。(453人) ・子どもオンズバーソンを講師に、民間保育園の職員と保護者及び学童保育の受託事業者に対し、「子どもの権利」に関する研修を実施した。(保育園:51人・学童保育:25人) ・一般市民向けには、子どもオンズバーソン令和5年度活動報告会の開催時に、「子どもの権利セミナー」と称して子どもの権利落語を披露し、落語という手法を用いて「子どもの権利」について啓発を行った。(51人)  「子どもの権利」及び「子どもオンズバーソン」の認知度が課題。 小学校6年生を中心に実施してきた「子どもの権利学習」について、次年度は市立中学校全校での実施を目指す。	
				子ども・子育て会議意見							

目標2 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます

2-3. 子どもの居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	子どもの居場所づくりの推進 (子育て支援課・児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの居場所に関するネットワークづくりを進めるとともに、子どもの居場所のあり方について関係者により継続的検討を行うことにより、子どもの居場所の推進体制を整備する。	子どもの居場所に関するネットワークづくり	—	実施	実施	実施	実施	実施	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容  令和6年度子どもの居場所づくり事業補助金に関連し、説明会や連絡会を開催するとともに、市ホームページに補助金活用団体の紹介や子どもの居場所マップを掲載し、ネットワークづくりに努めた。 小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会が、子どもが今の自分の気持ちで行きたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイト更新に当たって協力し、その情報提供に努めた。 令和6年度に「キッズカーニバルKOGANEI2024」にて、「居場所」に関する質問を書いたポスターを用意し、選択肢の中から子ども自身が選んだシールを貼り付け、意見をもらった。 また、U30こがねい会議室で、「あなたの居場所について」をテーマにグループ協議を行い、市へ聞いてほしい意見の発表や「居場所」をより良くするためのアイデアを出してもらった。	
			関係者による子どもの居場所のあり方の継続的検討	—	実施	実施	実施	実施	実施		
		子どもの居場所のあり方の検討を踏まえ、子どもや保護者が気軽に立ち寄れる地域の居場所づくりを推進する。どの家庭も孤立せず、地域とつながるように、地域全体で家庭を支援する環境を整備する。	子どもの居場所づくりの推進	—	検討	実施	継続	継続	継続		
2	児童館事業 (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの健全育成として、小学生対象のグループ活動などのほか、中・高校生事業、子育て支援、子育てグループの活動支援などについて、開館時間の延長も実行実施する。新たな児童館の整備を含めた児童館の在り方を検討する。	来館者数(人)	98,875	漸増 51,840	漸増 70,090	漸増 70,990	漸増 88,479	漸増 88,791	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容  来館者数(人) 88,791人 開館延長時の利用者数(人) 21,427人 令和6年度もコロナ禍前の状況と同じように事業を実施することができた。 来館者数は微増、開館延長時の利用者数は少し減となった。 引き続き利用者のニーズを踏まえながら取り組みを継続していく。	
			開館延長時の利用者数(人)	18,096	漸増 8,190	漸増 12,793	漸増 14,273	漸増 22,682	漸増 21,427		
子ども・子育て会議意見											



のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3-2.母子保健事業を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	
1	母子保健健康相談事業 ①乳幼児保健相談 ②乳幼児健康相談 ③出張健康相談 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	育児不安の解消を図るため、保健師等に気軽に相談できる場を確保し、育児支援を行う。	乳幼児健康相談利用者数(人)	914	漸増 253	漸増 286	漸増 270	漸増 438	漸増 612	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	乳幼児健康相談利用者数(人) 612 人 出張健康相談利用者数(人) 811 人  コロナ流行中、予約制で実施してきたものを、R5年度から予約制をなくし、自由来所で実施。利用者数はコロナ禍以前の相談状況に戻つつある。出張所健康相談は、5か所から6か所となったが、利用可能となった1か所はR6年度、施設側の都合で、年3回のみ開催となってしまった。
			出張健康相談利用者数(人)	1,107	漸増 345	漸増 232	漸増 450	漸増 829	漸増 811		
11	産後ケア事業 (こども家庭センター) ＜重点事業＞	出産直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。	産後ケア事業延べ利用者数(人)	—	実施 31	漸増 129	漸増 181	漸増 482	漸増 503	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	産後ケア利用実績 日帰り利用者延べ数: 534人(前年比 125 %) 宿泊利用者延べ数: 134人(前年比 167 %)(R6年度より宿泊可能施設増加)  宿泊型については、受入施設が増えたことにより利用者が増えている。日帰り型についても、利用者からの評価も高く、利用が増えた。 次年度も引き続き、心身のケア、育児サポート等を行っていくため、サービスの充実を図りつつ、利用施設の拡充を検討していく。
			子ども・子育て会議意見								

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

12	子育て中の保護者グループ相談 (こども家庭センター) <重点事業>	育児に強い不安や困難を感じている保護者を対象に、子育てや自分についての思いを話したり、必要な情報や支援を見つける場を関係機関と連携し、提供する。また、育児に関する日ごろの悩み相談や保護者同士の交流を必要とする保護者の継続支援を行う。	育児不安親支援事業延べ参加人数(人)	15	漸増 28	漸増 26	漸増 26	漸増 27	漸増 25	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	育児不安親支援事業延べ参加人数(人) 25人 お母さんグループ延べ参加人数(人) 12人  育児不安親支援事業については、前年度に引き続き定着した参加者で実施できた。不安に思うことを話す場への参加ニーズはあり、不安軽減の場になっている。 今後は新たに支援の手を広げるため、こども家庭センター設置による母子保健事業との連携の中で本事業の周知を進めるなどの工夫を行っていきたい。 お母さんグループについては、利用状況に鑑み回数を縮小した。子どもと離れ、同じ立場の大人同士で交流できる機会が参加者のよりどころとなっている。 グループ活動が、大人同士の交流を通し、育児に関する不安や負担の軽減につながっているため、引き続き実施をしていく。
			お母さんグループ延べ参加人数(人)	127	漸増 61	漸増 43	漸増 17	漸増 17	漸増 12		
子ども・子育て会議意見											

3-3.子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6		
1	子育て情報の提供 (子育て支援課) <重点事業>	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用するほか、民間の子育て支援サイト「のびのびーの！」と連携し、子育て情報の提供を行う。	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用した情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子2024」を発刊し、子育てに関する情報提供を行った。 また、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイトの拡充に当たって協力し、その広報に努めた。
			子育て支援サイト「のびのびーの！」との連携	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続		
子ども・子育て会議意見												
2	子育て総合相談 (こども家庭センター) <重点事業>	こども家庭センターを窓口とした、子どもや子育てに関する総合相談、情報提供。関係機関と連携し、他の支援機関や子育て支援ネットワークづくりに繋げる。	相談件数(件)	3,087	漸増 4,414	漸増 5,429	漸増 5,452	漸増 6,013	漸増 7,248	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	総合相談延件数(件) 7,248件  前年度に比べて増加している。年齢別相談対応者においては前年度と同様に、未就学児の年齢層で増加している。 いつでもだれでもが相談できる窓口としての周知を促進し、子育ての悩みや不安の軽減の場、子どもが相談できる場になるよう、丁寧な対応と必要時の関係機関連携を推進していく。	
			子ども・子育て会議意見									



のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3

3	障がい児の緊急・一時預かり(保育課) ＜重点事業＞	保護者の病気などで障がいのある子どもの一時的な預かりを必要とした場合、保育所や障がい者の施設で一時的に預かりを行う。	保育所での障がい児の緊急・一時預かりの実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	一時保育の職員体制等の理由により、実施することは困難であるが、児童発達支援センターにおいて実施することを引き続き検討する。
										子ども・子育て会議意見	

目標6 地域の子育て環境を整えます

6-1.地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称(担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	R6		
1	子育て支援ネットワーク(子育て支援課) ＜重点事業＞	保育所、幼稚園、子育てサークル、NPOなどの子育て支援団体との協働によるネットワークをつくり、相互援助と情報発信を行う。	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)	68	漸増 94	漸増 100	漸増 108	漸増 119	漸増 116	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)116団体  小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会については、様々な機会に積極的に呼びかけを行うことにより、新規加入団体を増やしてきた。なお、ネットワーク協議会の関連事業については、市職員も積極的に参加し、相互理解に努めるようにした。また、各団体の活動・取組状況については、子育てメッセこがねいや小金井子育て・子育て支援サイト等から把握に努めたところである。 次年度においても、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会が安定的、継続的な活動を行えるよう、引き続き補助金を交付する。また、市内の団体加入促進を始め、活動の広報等支援を行っていく。		
										子ども・子育て会議意見			

6-3.地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称(担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6	R6		
1	子育てに配慮した公共施設の改善(子育て支援課) ＜重点事業＞	子連れで外出しやすいよう公共施設の環境を整備する。市の施設については、おむつ替え、授乳スペースを設置する等、子育てに配慮する。	赤ちゃん休憩室事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件) 4件  市ホームページの掲載に加え、市報やX及びLINEでの広報に努めたものの、貸出件数は伸びなかった。引き続き周知に努め、機会に応じて貸し出し、事業の実施を継続する。	
			移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件)	9	漸増 0	漸増 0	漸増 2	漸増 3	漸増 4	子ども・子育て会議意見			